

# 4月文楽公演

吉田幸助 改め

五代目 吉田玉助襲名披露

平成30年

4月7日(土) - 30日(月・休)

※19日(木)は休演



## 本朝廿四孝

ほんちようにじゅうしこう

桔梗原の段

吉田幸助改め

五代目 吉田玉助襲名披露

景勝下駄の段

襲名披露狂言

勘助住家の段

## 義経千本桜

よしつねせんぼんざくら

道行初音株

## 彦山権現誓助剣

ひこさんごんげんちかいのすけだち

須磨浦の段

瓢箪標の段

杉坂墓所の段

毛谷村六助住家の段

第1部 ◆ 午前11時開演

第2部 ◆ 午後4時開演

◆ 予約開始=3月3日(土) 午前10時~

◆ 窓口販売開始=3月4日(日) チケット売場(午前10時~午後6時)

◆ ご観劇料 [各部・税込]

[1等] 6,000円 [2等] 2,400円

国立劇場チケットセンター 検索

字幕表示がごさいます

国立文楽劇場 (大阪)

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号  
06(6212)2531(代表) http://www.ntj.jac.go.jp/

関西から  
文化力  
POWER OF  
CULTURE

beyond  
2020



吉田幸助 改め  
五代目 吉田玉助

# 4月文楽公演

吉田幸助 改め  
五代目 吉田玉助 襲名披露

平成30年

4/7(土)~30(月・休)

※19日(木)は休演

演目入替はございません

## 第一部

午前11時開演(午後3時25分終演予定)

### 本朝廿四孝

ほんちようじじゅうしこう

足利將軍暗殺と懐胎の側室誘拐の嫌疑をかけられた武田晴信と長尾謙信は、犯人詮議を命じられますが、約束の期日までに判明しないまま嫡男の首を差し出すことになり、身替りを捜しています。そんな中、長尾家の嫡男景勝は、諏訪明神で自分に似た風貌の男・横蔵の命を助け、身替りにしようとする家を訪ねます。横蔵は信濃の軍師・山本勘助の息子でした。勘助の未亡人は二人の息子のうち、孝行者の弟・慈悲蔵ではなく不孝者の兄・横蔵ばかりを最良としています。しかし、景勝は未亡人に横蔵を召し抱えたと伝え、主従固めの品を渡すのでした。実は慈悲蔵は長尾家の家臣・直江山城守で、景勝の身替りにするために横蔵の命を狙っていました。母もそれに加担しており、景勝からの白装束と腹切り刀を手には、横蔵に自害を迫ります。逃れられないと悟った横蔵は、刀で片目をえぐって身替りを逃れます。その上で横蔵は、自身が武田家の家臣であることと、將軍の忘れ形見を養育していたことを物語ります。横蔵は父の名を継いで山本勘助と名乗り、慈悲蔵と戦場での再会を約束するのです。

横蔵と慈悲蔵の兄弟が、雪の竹藪で秘伝の軍法の一巻を争う「笥掘り」の場面で見られる「勘助住家の段」。三代目玉助の襲名演目であったこの演目で、このたび新玉助が襲名披露をいたします。

### 吉田玉助 襲名披露 口上

吉田玉助という名跡は、その三代目が立役遣いとして豪快な芸で多くの観客を魅了しました。このたび三代目玉助の孫にあたる吉田幸助が、この名跡を五代目として襲名いたします。なお、四代目は新玉助の師匠であった父、故二代目吉田玉幸に追贈されます。

### 義経千本桜

よしつねせんぱんざくら

「義経千本桜」より、静御前が愛する源義経の許へと向かう道を描く「道行初音旅」をご覧ください。初音の鼓を慕ってやってきた狐が化けた忠信とは知らず、静は二人で連れ舞いや戦物語を繰り広げます。華やかで豪快な演奏に、花盛りの舞台もにぎにぎしい、道行物の代表作です。



「本朝廿四孝」結櫻原の段



「本朝廿四孝」勘助住家の段



「義経千本桜」道行初音旅

## 第二部

午後4時開演(午後8時30分終演予定)

### 彦山権現誓助剣

ひこさんこんげんちかいのすけだち

秀吉の朝鮮出兵を背景に、毛谷村六助による師・吉岡一味斎の敵討を脚色した時代物を、敵を探す一味斎の娘たちの難題と六助が敵討に立出するまでをまとめる形でご覧いただきます。「須磨浦の段」「瓢箪棚の段」は文楽劇場では初めの上演です。

父・吉岡一味斎を京極内匠に討たれたお園とお菊の姉妹は、二手に分かれて敵討の旅に出ます。幼い息子の弥三松を連れ、吉岡家の若党・友平を伴ったお菊は須磨浦で内匠に出会い、油断させて敵を討とうとしますが、返り討ちに会い、命を落とします。

一方、姉のお園は遊女に身をやつし、山城国小栗栖で敵を捜していました。そこへ現れた友平は、お菊の末路を語り、己の不甲斐なさを悔いて切腹します。内匠が落とした守り袋の中身を友平が池に投げ込んで息絶えすると、お園の懐にある千鳥の香炉が鳴き出しました。その音に惹かれてきた内匠は、光秀の亡霊の声を聞き、自身が光秀の遺児であることを知り、蛙丸の名剣を手に入れます。名剣を巡って内匠と斬り合ううち、お園は相手を敵と認めて追いかけていくのでした。

豊前国毛谷村の六助は一味斎に認められた剣客ですが、亡母への服喪を理由に仕官を断っています。慕参りをする六助の前に、浪人姿の微塵弾正が老女を背負って現れ、母への孝行のため、仕官の条件である御前試合に負けてくれるよう頼むので、六助はその申し出を受けました。そして六助は家へと帰る道すがら、瀕死の吉岡の家来佐五平から弥三松を託されます。

立浪家の使者の前で六助は約束通り弾正に勝ちを譲ります。六助は、弥三松の小袖を手掛かりになればと門口に干すと、老女が訪れ親子になろうと申し入れ、虚無僧姿の女性が六助に斬りかかるなど不思議なことが起こります。斬りかかった女は実はお園で、六助の許婚でした。お園は一味斎が討たれてからの顛末を六助に語り、さらに先ほどの老女は一味斎の未亡人・お幸だと分かり、弾正が内匠の変名であることを知った六助は、敵討への助力を誓うのでした。



瓢箪棚の段



毛谷村六助住家の段



毛谷村六助住家の段

#### 予約開始

3月3日(土)午前10時~

(電話) 国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]

0570(07)9900

03(3230)3000 (一部1P電話等)

(インターネット) <http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン)

#### 窓口販売開始

3月4日(日) チケット売場 午前10時~午後6時

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

#### ご観劇料(各席・税込)

[1等] 6,000円 [2等] 2,400円

(学生 [1等] 4,200円 [2等] 2,400円)

※障害者の方は2割引です(1等のみ)。※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。※障見席もございます。詳細は国立文楽劇場ホームページ又は国立文楽劇場チケット売場(06-6212-5845)まで。

#### プレイガイド 3月3日(土)午前10時より

チケットぴあ ..... 0570(02)9999 [Pコード 484-319]

[パソコン・携帯] <http://pia.jp/>

ローソンチケット ..... 0570(000)407 [Lコード 53847]

[パソコン] <http://eplus.jp>

e+(イープラス) ..... [携帯] <http://eplus.jp/ntj>

JR西日本(京阪神地区)の主な駅のみどりの窓口

※3月3日は午前11時から取り扱います。



国立文楽劇場

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号 06(6212)2531(代表)

<http://www.ntj.jac.go.jp/>

地下鉄・近鉄(日本橋)駅下車7号出口より徒歩約1分

※駐車場がございますのでお車でのご来場はご遠慮ください。

関西から

文化力  
POWER OF CULTURE